

別表第1 薬科学専攻博士前期課程（修士課程）の授業科目及び単位表（第25条関係）

区分		授 業 科 目	単位数
基礎科目		英語プレゼンテーション	必修 2
		研究開発学概論	必修 1
専 門 選 択 必 修 科 目	専 門 選 択 必 修 科 目	創薬化学	選A 1
		医薬品プロセス化学・機能性有機化学	選A 1
		精密有機合成化学	選A 1
		ケミカルエコロジー	選A 1
		神経生物学	選B 1
		神経機能解析学	選B 1
		薬理学	選B 1
		環境衛生学	選B 1
		内分泌代謝学	選B 1
		免疫微生物学	選B 1
		薬品物理化学	選C 1
		製剤学	選C 1
		薬品分析化学	選C 1
		薬剤学	選D 1
		臨床薬剤学	選D 1
		薬物治療学	選D 1
		医療薬学	選D 1
	専 門 必 修 科 目	コミュニケーション技術基盤	必修 1
		薬科学演習	必修 7
		薬科学特別実験	必修 12
小 計		講義	20
		演習	8
		実験	12
合 計			40

(注1) 「専門選択必修科目」と「専門必修科目」は、指導教員の授業科目を履修すること。

(注2) 指導教員以外の授業科目は「専門選択科目」とし、選Aから選Dの4群からそれぞれ1科目(1単位)以上を履修すること。

履修上の注意点

1. 「専門選択必修科目」と「専門必修科目」は、指導教員の授業科目を履修すること。ただし、「専門選択必修科目」は隔年ごとに開講されるので注意してください。

2. 指導教員以外の授業科目は「専門選択科目」とし、選Aから選Dの4群からそれぞれ1科目（1単位）以上を履修してください。

3. 成績評価（大学院学則第29条）

授業科目の成績は、試験のほか、出席及び学修状況等により総合判定しますが、それらの評価等に関する具体的な基準（講義等時間数の7割以上の出席及び試験での得点率60%が指標）については、各科目の授業開始時に担当教員が学生に対して周知します。

SGD (small group discussion)、PBL (problem based learning)については原則出席が必須です。

修士課程の授業科目の成績は、優、良、可及び不可で表し、優、良及び可を合格とし、不可を不合格とします。

3. 博士前期課程（修士課程）の修了要件

① 本課程に2年以上在学し、修了時に下の表に示す履修基準に準じた30単位以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、修士論文の審査及び最終試験に合格すること。（大学院学則第37条）

薬科学専攻修士課程の履修基準（別表第1の2（第26条関係））

科目区分	科目数	単位数
基礎科目	2	3
専門必修科目	3	20
専門選択必修科目	1	1
専門選択科目	6 以上	6 以上
合計	12 以上	30 以上

単位の計算方法

- 講義は、週1.5時間（90分）10週の履修をもって1単位とする。ただし、外国語及び演習は、週1.5時間（90分）15週の履修をもって1単位とする。
- 実習は、週2時間（120分）15週の履修をもって1単位とする。
- 一授業科目について講義、演習、実習のうち二以上の方法の併用により行う場合の単位の計算基準は、講義時間を2倍、演習時間を1.5倍、実習時間を1倍して、合計時間が30時間の授業をもって1単位とする。